

参考文献

- 鈴木克明・美馬のゆり（編著）「学習設計マニュアル」北大路書房（2018）
- 鈴木克明（監修）・市川尚・根本淳子「インスタラクショナルデザインの道具箱101」北大路書房（2016）
- 稲垣忠（著、編集）市川尚その他「教育の方法と技術：主体的・対話的で深い学びをつくるインスタラクショナルデザイン」北大路書房（2019）
- L.B.ニルソン（著）・美馬のゆり・伊藤崇達（監訳）「学生を自己調整学習者に育てる アクティブラーニングのその先へ」（2017）
- スー・F、ヤング、ロバート・J、ウィルソン他、土持ゲーリー法一（監訳）「『主体的学び』につなげる評価と学習方法—カナダで実践されるICEモデル」東信堂（2013）
- 柘磨昭孝（著）「ICEモデルで拓く主体的な学び—成長を促すフレームワークの実践」東信堂（2017）
- 柘磨昭孝（著）「生徒も教師も楽しめる 問いづくりの実践」日本橋出版（2020）
- 土持ゲーリー法一（著）「社会で通用する持続可能なアクティブラーニング—ICEモデルが大学と社会をつなぐ」東信堂（2017）
- R・リチャードら（著）黒上晴夫ら（訳）「子どもの思考が見える21のルーチン：アクティブな学びを作る」北大路書房（2015）
- H・リン・エリクソン（著）「思考する教室をつくる概念型カリキュラムの理論と実践：不確実な時代を生き抜く力」北大路書房（2020）
- 栗田佳代子（編著）「インタラクティブ・ティーチング—アクティブ・ラーニングを促す授業づくり」河合出版（2017）
- 中村長史、栗田佳代子（著）「インタラクティブ・ティーチング 実践編1 学びを促す授業設計—クラスデザインの作法と事例集—」河合出版（2021）
- エリザベス・F・バークレイ、クレア・ハウエル・メジャー他「学習ハンドブック：アクティブラーニングを促す50の技法」東京大学出版会（2020）
- G・ウィギンズ、J・マクタイ著、西岡加奈恵（訳）「理解をもたらすカリキュラム設計」日本標準（2014）
- 奥村好美、西岡加奈恵「逆向き設計実践」ガイドブック：『理解をもたらすカリキュラム設計』を読む・活かす・共有する」日本標準（2020）

おわりに

第4年次「見せどころ設計マニュアル」の「令和2年度+（プラス）」は、

英語版の「見せどころシート」が作成できたこと

ALT バレリア先生・ジョシュア先生のシートが掲載できたこと

「職員研修サイト」の作成により、追加・編集が柔軟にでき、

最新情報が提供共有できるようになったこと

<第二高校職員研修サイトより>

が「見どころ」です。

これらを職員で共有し、今後も「授業改善で探究活動」の実践を面白がって楽しんでいきましょう。

